

四街道市生きもの調査プロジェクト
令和6年度実施報告書

よつかいどうの生きもの情報
～令和6年度版～

令和7年3月

四街道市

目次

1	生きもの調査プロジェクトとは	1
2	生きもの調査の概要.....	2
3	生きもの調査の結果.....	4
3-1	チョウ	5
3-2	セミ	11
3-3	トンボ	15
4	まとめ.....	21

1 生きものの調査プロジェクトとは

プロジェクトの目的

「生きものの調査プロジェクト」は、令和 6 年度から開始した「第 3 次四街道市環境基本計画」に位置付けられている施策の一つである「生物多様性の保全」に取り組むため、この基礎情報となる「市内の動植物の生息・生育状況」を把握することを目的としています。

毎年度調査対象の生きものを選定した上で、皆様からいただく発見報告が、四街道市の魅力の一つである「豊かな自然」の実態を知るための貴重な資料となります。

なお、このプロジェクトは、令和 6 年度からスタートした新しい取り組みであることから、まずは身近な生きものを調査対象として実施しました。今はまだ小さなプロジェクトの輪ですが、今後拡大を進め、市内のあらゆる場所での動植物の生息・生育状況に関する情報を収集し、最終目的である「生物多様性の保全」につなげることを目指します。

生物多様性とは

生物多様性とは、「生きものたちの豊かな個性とつながり」のことです。地球上の生きものは、40 億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000 万種ともいわれる多様な生きものが生まれました。これらの生命は一つひとつに個性があり、全て直接に、間接的に支えあって生きています。生物多様性条約では、生態系の多様性・種の多様性・遺伝子の多様性という 3 つのレベルで多様性があるとしています。

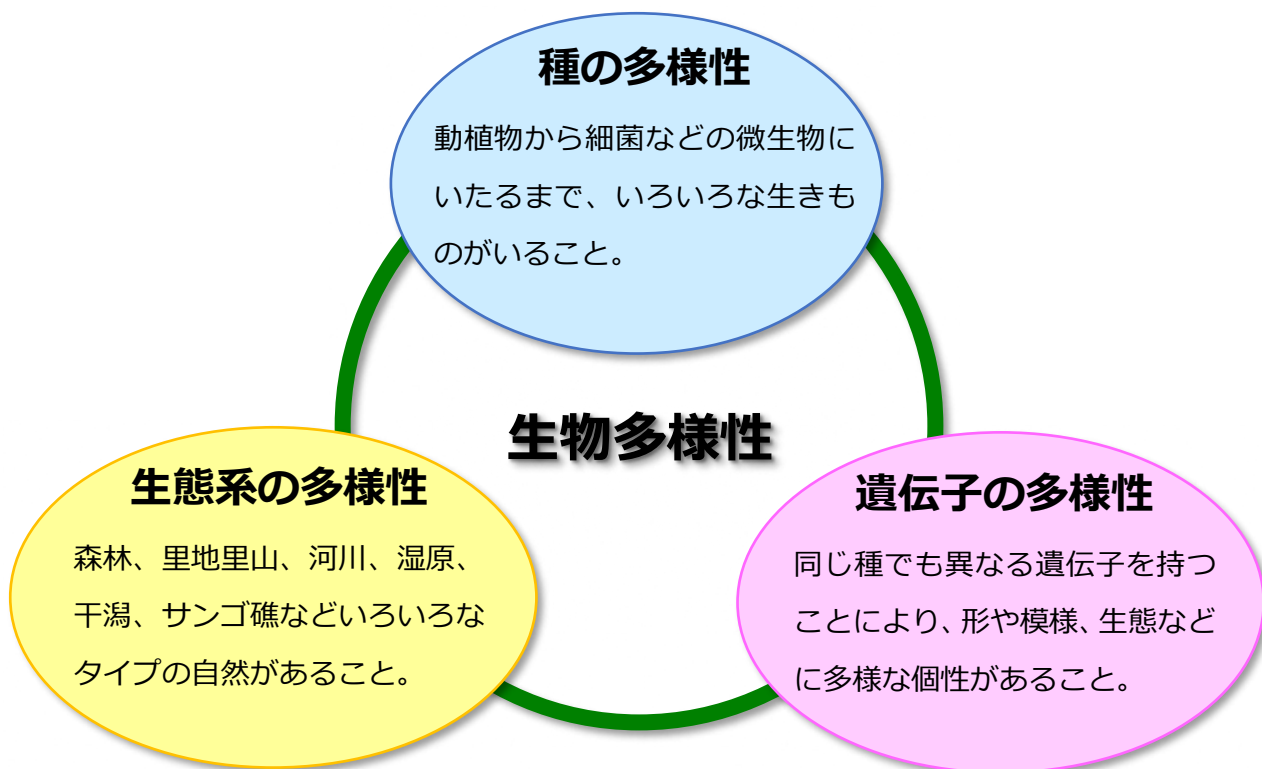


図 1.1 生物多様性の 3 つのレベル

2 生きものの調査の概要

調査方法

原則として市内在住・在勤・在学者に、調査対象の生きものを探し、市に報告いただくかたちで行いました。

報告方法は、インターネット上の専用報告フォームのほか、調査票の郵送・持参・メール送信からお選びいただきましたが、令和6年度については、全ての報告が「インターネット上の専用報告フォーム」を利用したものとなっています。

調査対象の生きもの

チョウ、セミ、トンボ

調査報告項目

- (1)見つけた生きもの
- (2)生きものの写真（撮影していれば）
- (3)生きものを見つけた日・場所
- (4)生きものを見つけた人（ハンドルネームでも可）

調査期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

※この報告書は、令和6年4月1日から12月31日までにいただいた調査報告を基に作成したものです。令和7年1月1日から3月31日までにいただいた調査報告については、別途集計後に市ホームページで公表します。

調査報告件数

175件 （令和6年12月31日時点）

（内訳）チョウ：73件
セミ：4件
トンボ：98件

注意事項

この報告書に記載されている調査結果は、市民の皆様にご協力いただき、身近な場所や出かけた先で見つけた生きものをご報告いただいたものをまとめたものです。

「どこでどんな生きものを見つけたか」ということを示すのみのものであり、「その場所に確実に生きものがいる・いない」ということについて示すものではありませんので、ご了承ください。

(資料)生きもの調査プロジェクトの令和6年度版チラシや調査票

【チラシ】

生きもの調査プロジェクト

あなたの報告待ってます！

四街道で暮らす生きものを見つけたら、お気軽に報告してください！
あなたの報告が、四街道市の自然を知るための貴重なカギになります！

調査期間

令和7年3月まで

調査する生きもの

チョウ、セミ、トンボ

参加資格

市内で生きものを見つけた人なら誰でもOK！

詳細はコチラの
QRコードから→→→

(ホームページにリンクします)

問合せ先

四街道市環境部環境政策課
TEL：043-421-6131
受付時間：8:30～17:15(平日)

【調査票（例）】

生き物調査プロジェクト

調査票兼写真帳

調査員氏名 (HN可)

発見日： 月 日 ()

場所：

生き物の名前：

見つけた数：

気付いたこと

写真

発見日： 月 日 ()

場所：

生き物の名前：

見つけた数：

気付いたこと

写真

発見日： 月 日 ()

場所：

生き物の名前：

見つけた数：

気付いたこと

写真

1ページで取まらない場合は、複数ページ作成してください。

3 生きものの調査の結果

チョウ… 5 p
セ ミ… 1 1 p
トンボ… 1 5 p

結果の読み方

結果は、調査対象の生きものごとに、①報告件数と報告種数、②報告情報を地図に記載した分布図、の順で掲載しています。なお、分布図については、報告により場所が分かるもののみを記載しているため、場所が特定できなかったものは記載していないほか、同一地点で複数の報告があることもあることから、報告件数と分布図上の地点数は一致しないことがあります。

分布図の全体版と拡大版について

分布図については、調査対象の生きものごとに、地図上に写真をいくつか掲載していますが、市全体を1ページに収めた分布図では写真が小さくなってしまうため、全体図の次ページ以降に、ブロックごとの拡大版の分布図（全体図を四分割したもの）も掲載しましたので、併せてご覧ください。

3-1 チョウ

報告件数

73件

報告内訳

種名	件数
コチャバネセセリ	4
コムスジ	4
ヒメウラナミジャノメ	4
アカボシゴマダラ	3
クロコノマチョウ	3
チャバネセセリ	3
ヒカゲチョウ	3
ムラサキシジミ	3
メスグロヒョウモン	3
ウラギンシジミ	2
キタキチョウ	2
キタテハ	2
コジャノメ	2
サトキマダラヒカゲ	2
チョウ	2
ツマグロヒョウモン	2
ヤマトシジミ	2
アゲハ	1
イチモンジセセリ	1
イチモンジチョウ	1
ウスバシロチョウ	1
ウラナミシジミ	1
オナガアゲハ	1
カラスアゲハ	1
キアゲハ	1
キマダラセセリ	1
ギンイチモンジセセリ	1
ジャコウアゲハ	1
ジャノメチョウ	1
スジグロシロチョウ	1
ダイミョウセセリ	1
ツバメシジミ	1
ツマキチョウ	1
ヒメキマダラセセリ	1
ヒメジャノメ	1
ホンサナエ	1
ミズイロオナガシジミ	1
ミドリヒョウモン	1
ムアサキシジミ	1
ムラサキツバメ	1
モンキアゲハ	1
モンシロスソモンヒメハマキ	1
ルリシジミ	1
ルリタテハ	1
集計	73

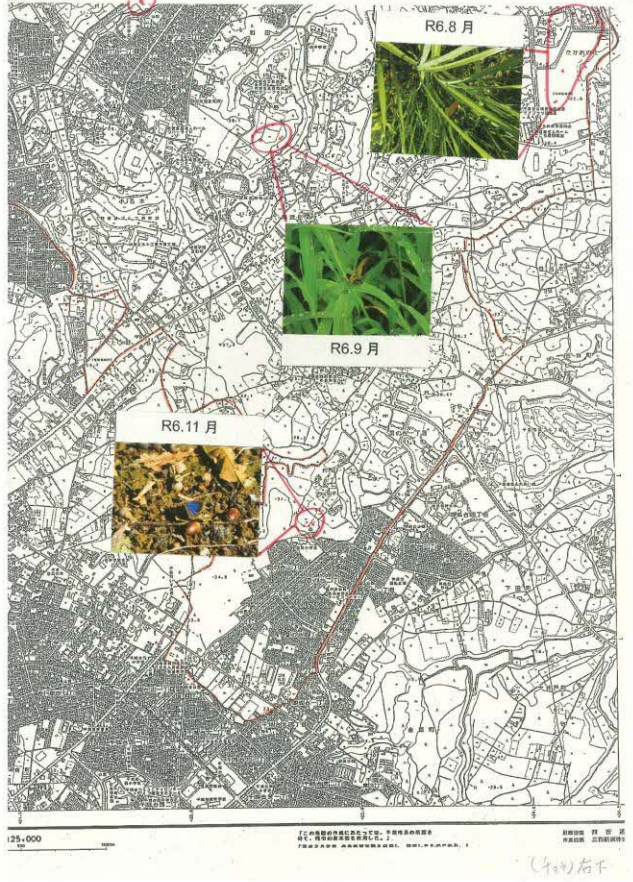
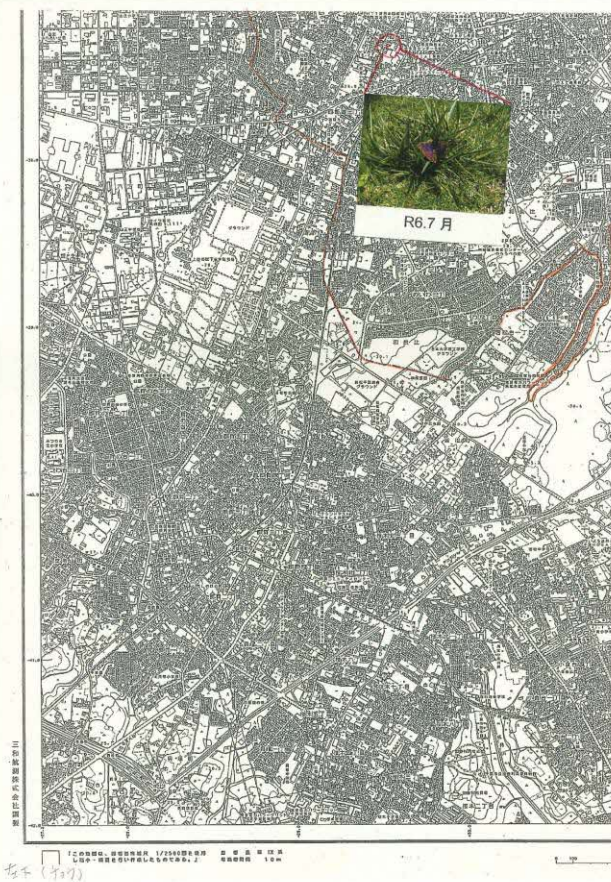
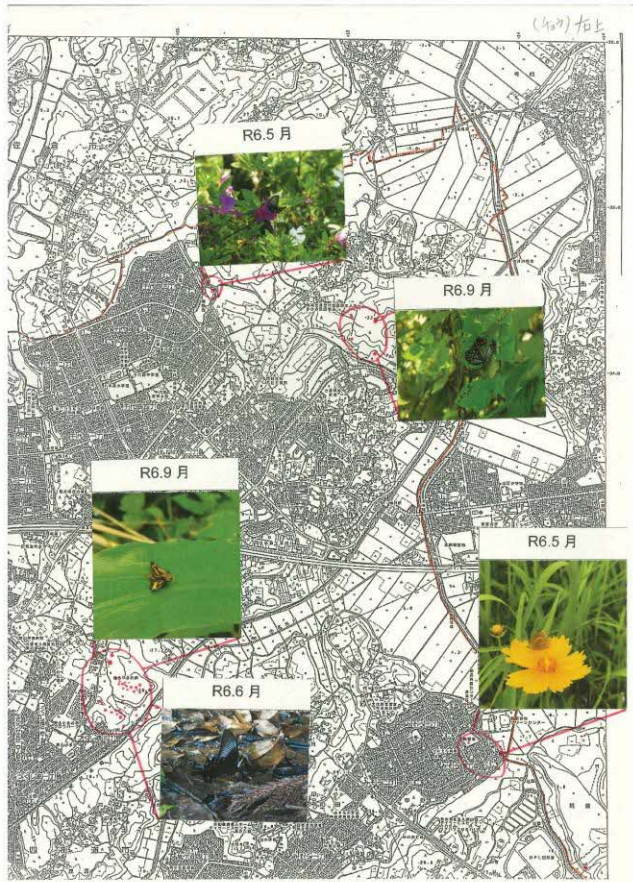
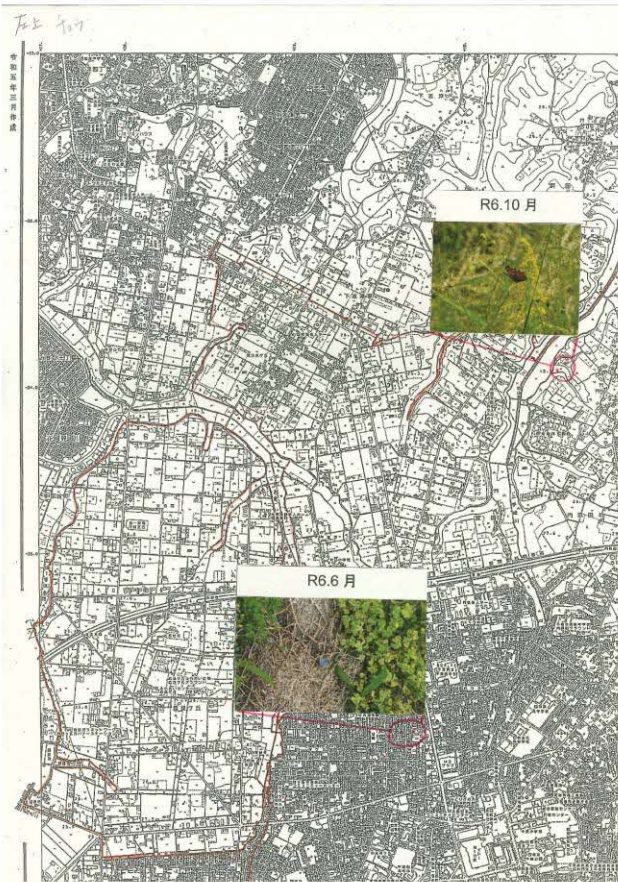


〈チョウの報告種数〉

44



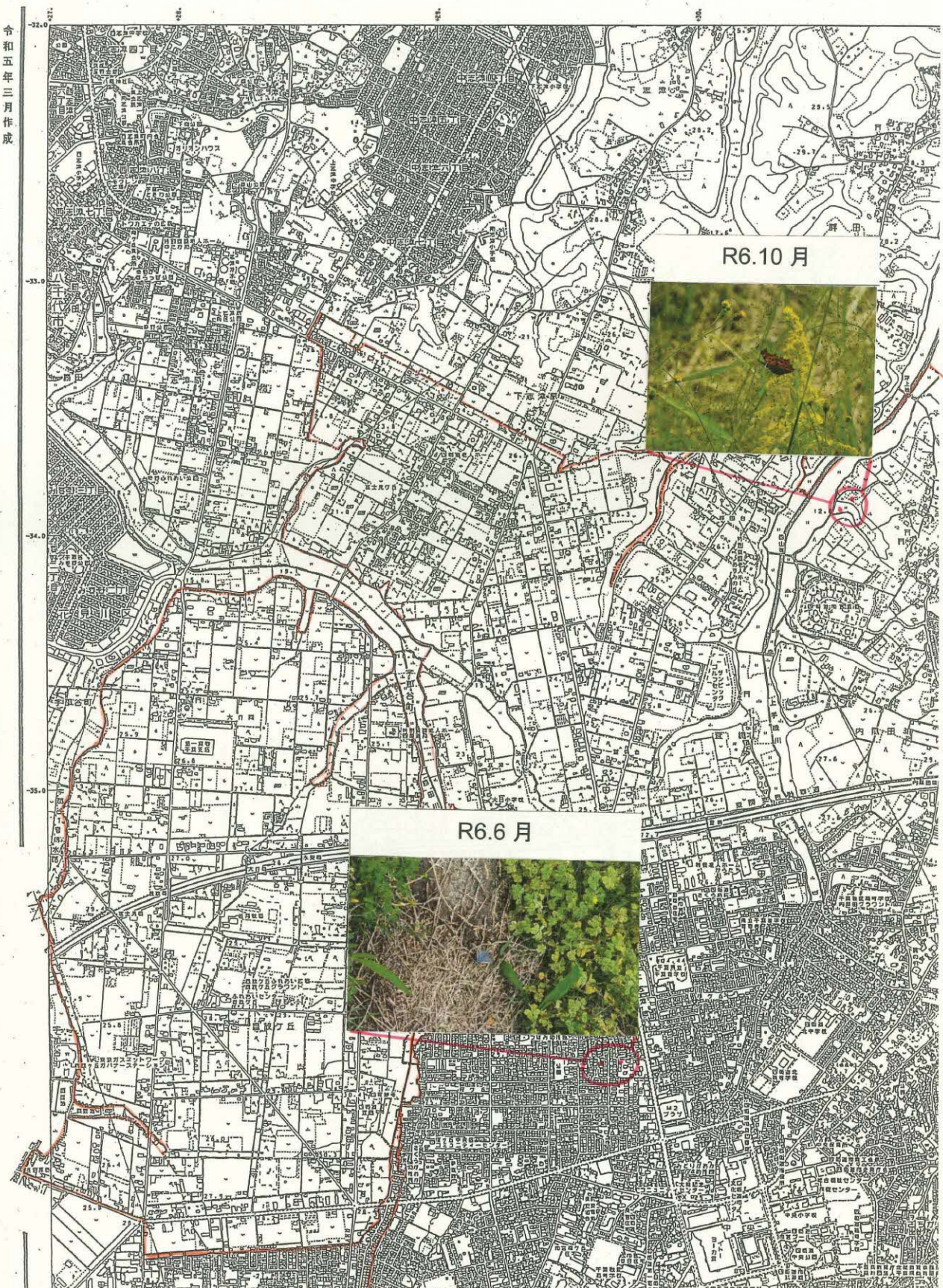
チョウ分布図（市全体）



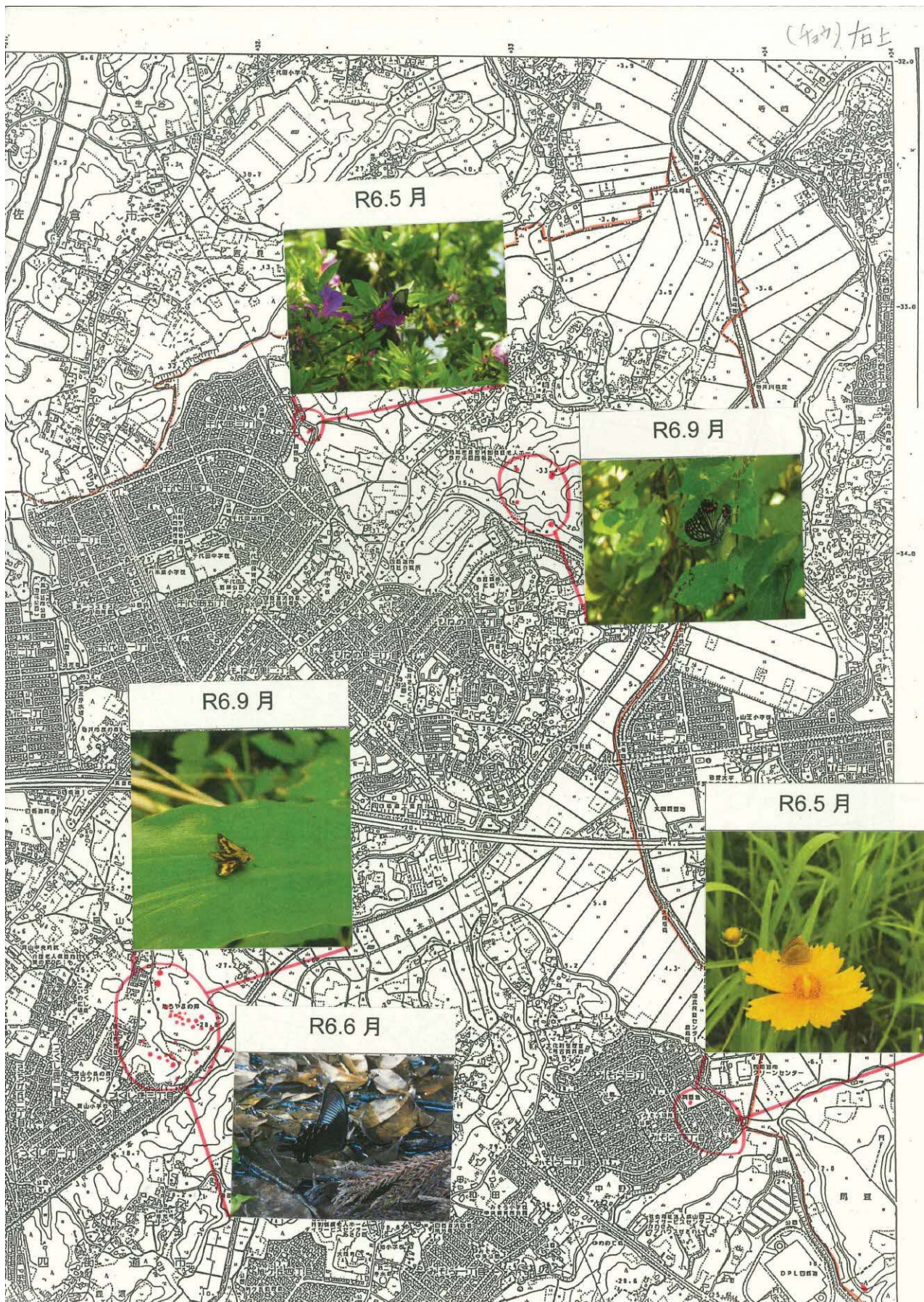
チョウ分布図 (左上)

左上 4月

令和五年三月作成

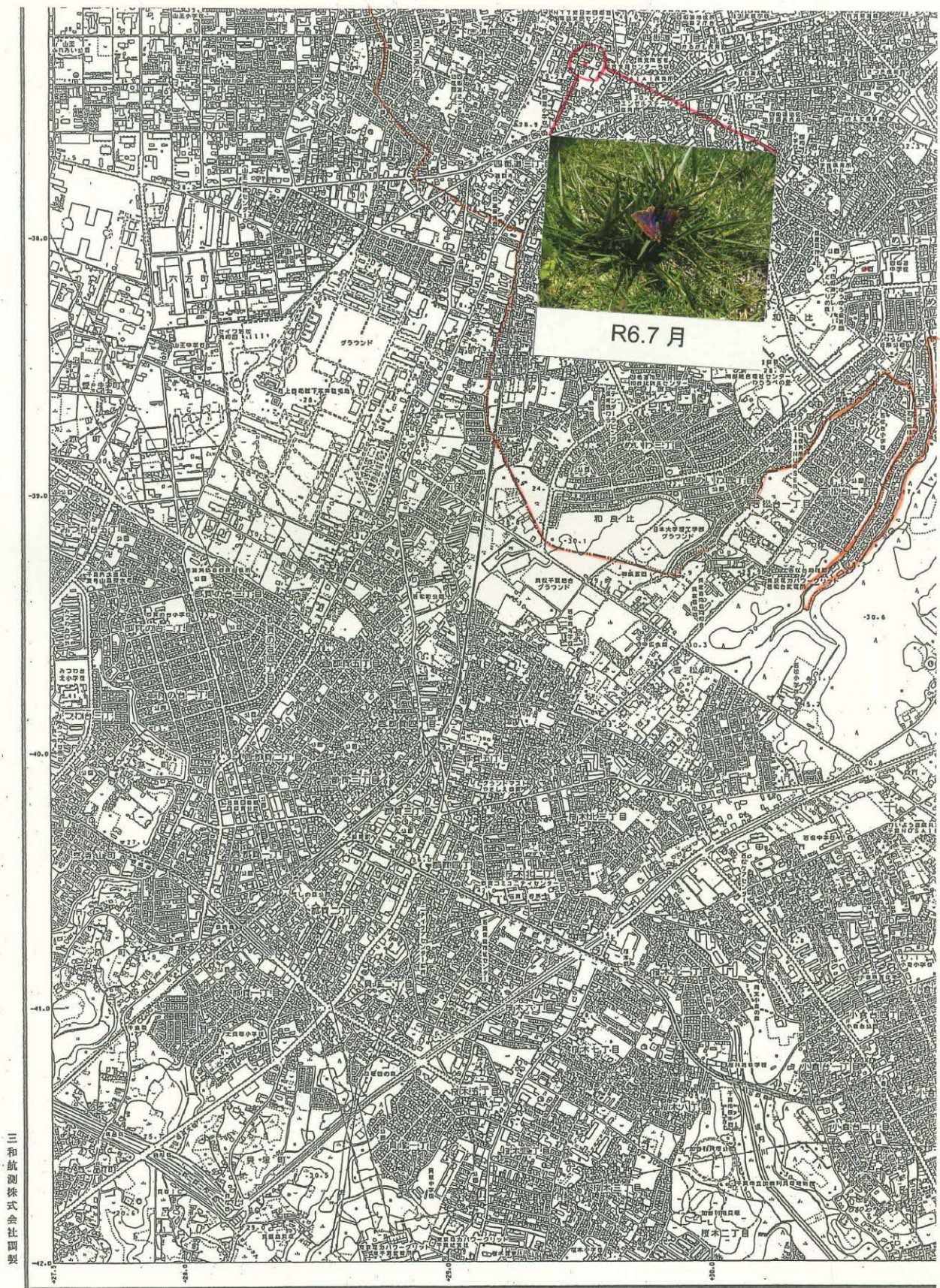


チョウ分布図 (右上)



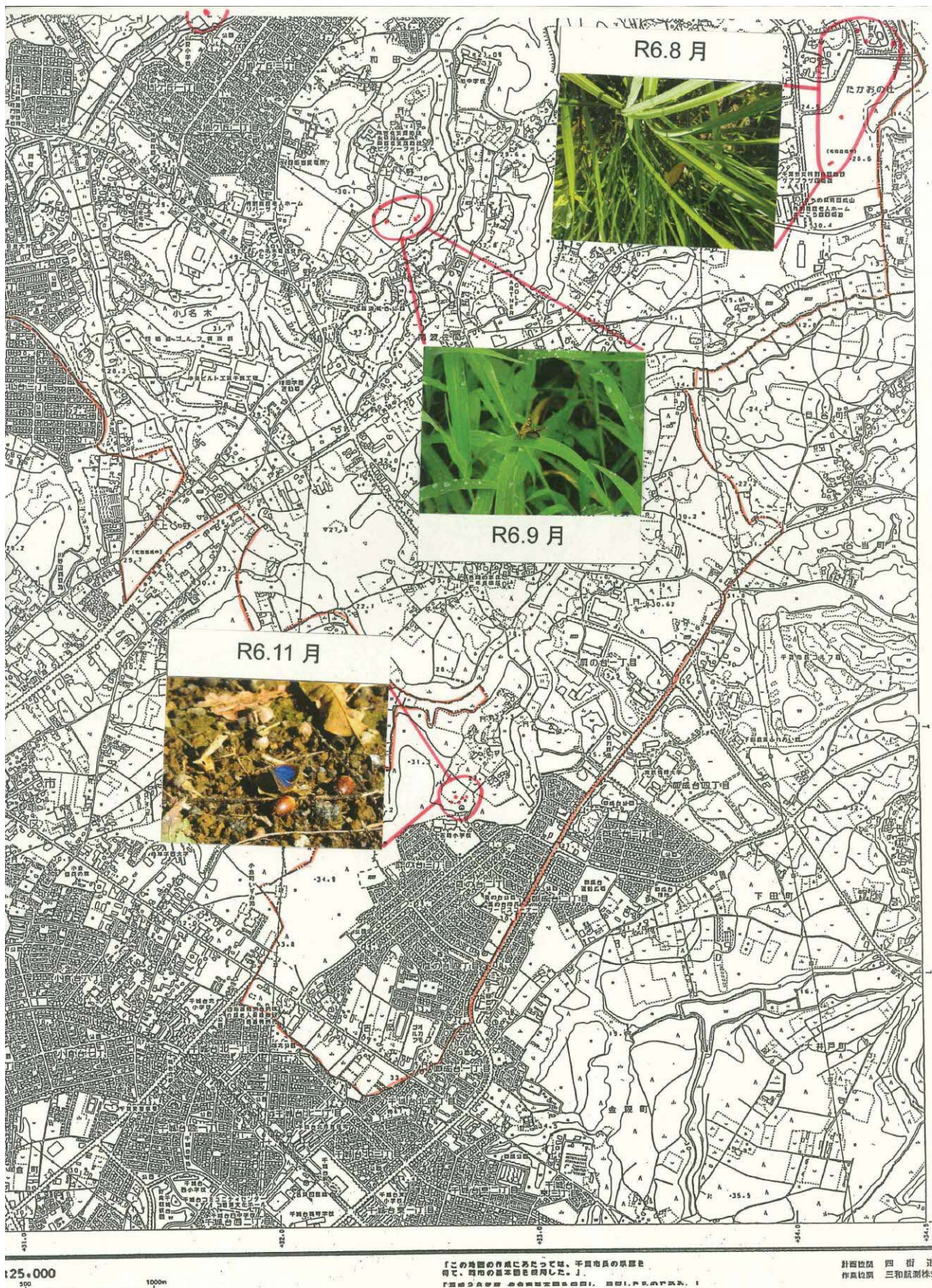


チョウ分布図 (左下)



左下(407)

チョウ分布図（右下）



(午) 右下

3-2 セミ

報告件数

4 件

報告内訳

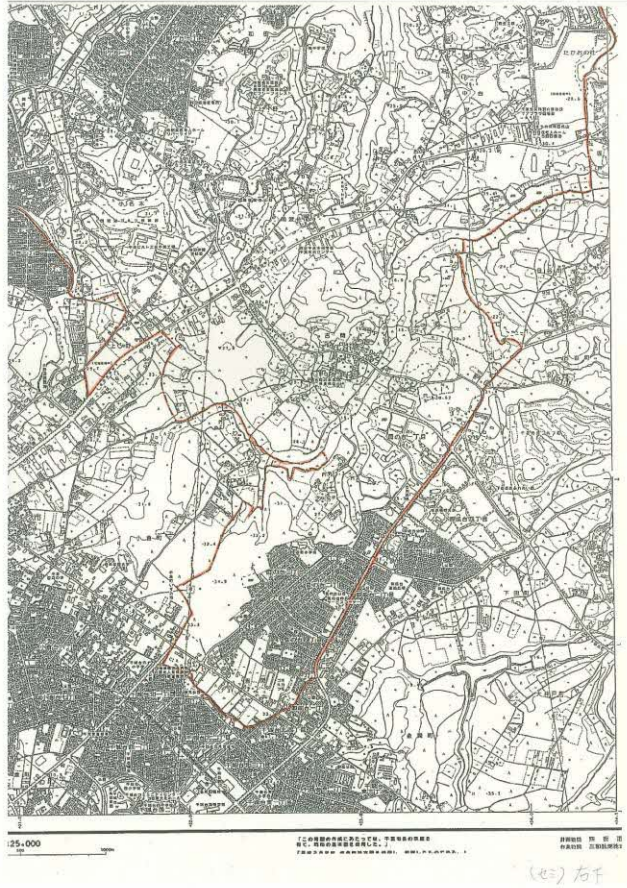
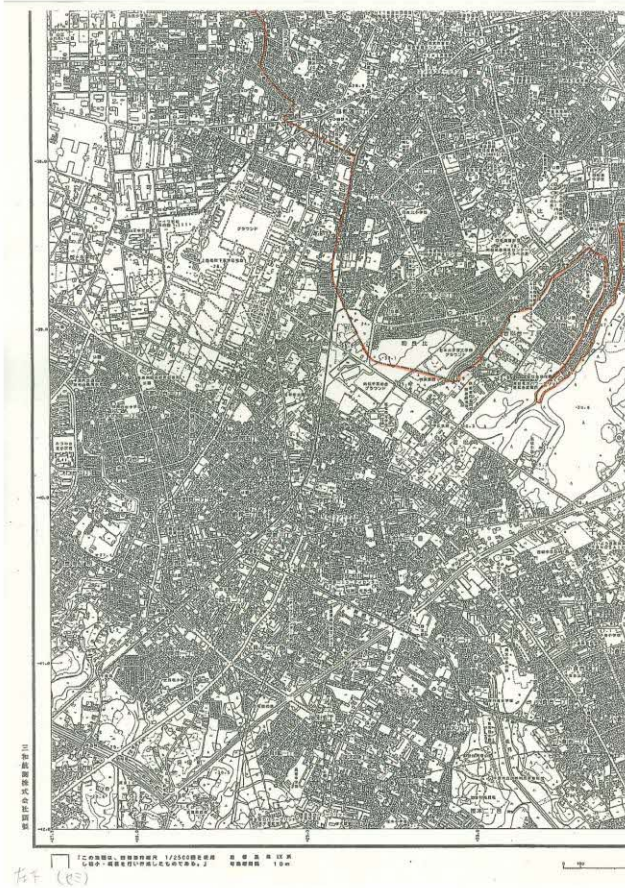
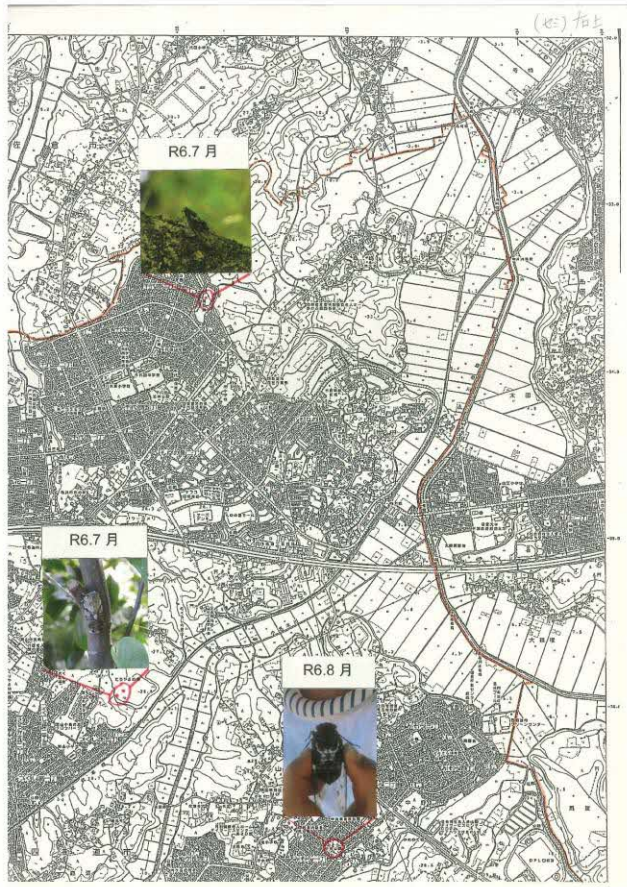
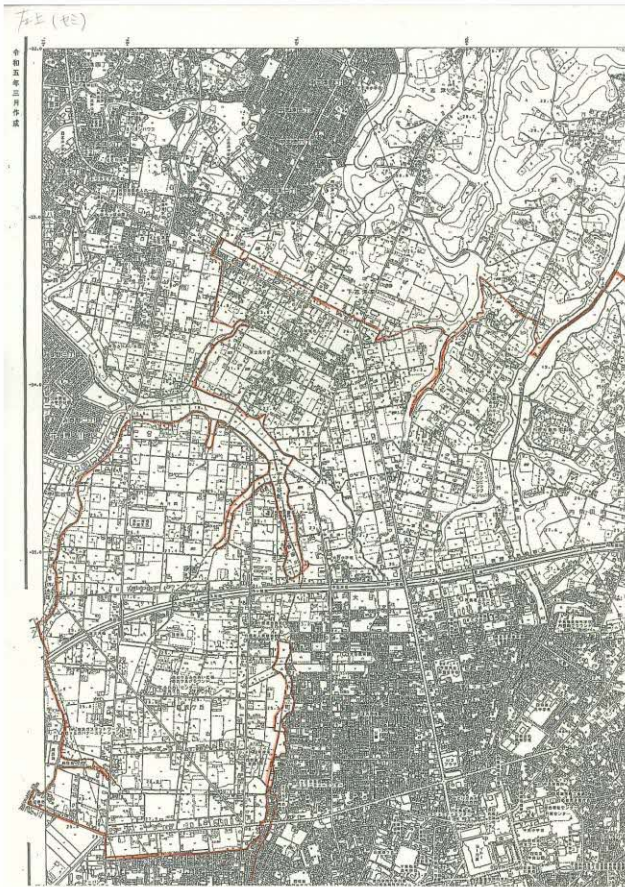
種名	件数
ミンミンゼミ	2
ニイニイゼミ	1
ヒグラシ	1
集計	4

〈セミの報告種数〉
3



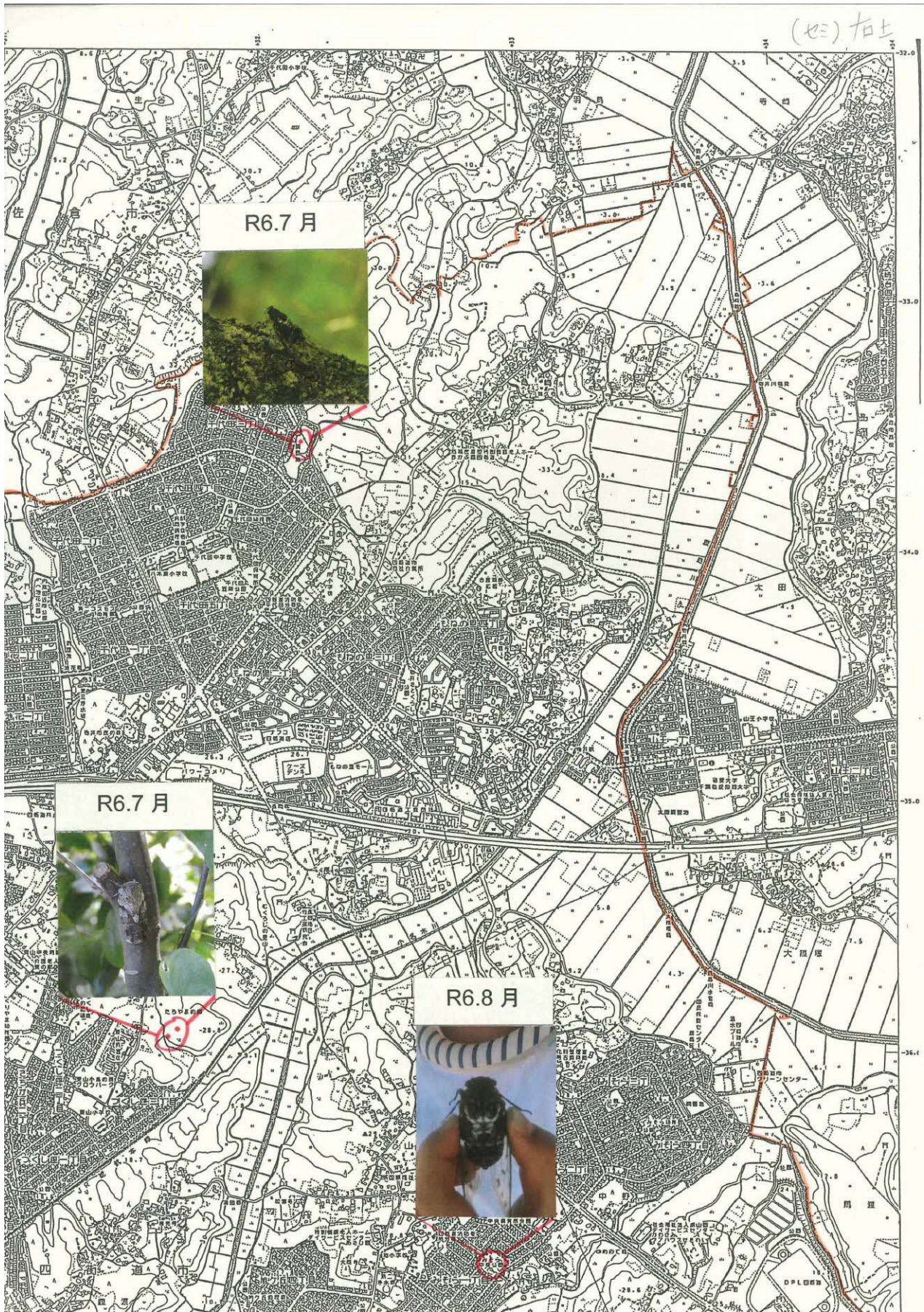


セミ分布図（市全体）





セミ分布図 (右上)



セミ分布図（左上）

報告無しのため掲載しません。

セミ分布図（左下）

報告無しのため掲載しません。

セミ分布図（右下）

報告無しのため掲載しません。

3-3 トンボ

報告件数

98件

報告内訳

種名	件数
ノシメトンボ	11
マユタテアカネ	11
オオアイトトンボ	7
アキアカネ	5
ハグロトンボ	5
ナツアカネ	4
ヒメアカネ	4
ホソミイトトンボ	4
ホソミオツネントンボ	4
アオイトトンボ	3
アジアイトトンボ	3
シオカラトンボ	3
ショウジョウトンボ	3
マイコアカネ	3
アオモンイトトンボ	2
ウスバキトンボ	2
ウチワヤンマ	2
コシアキトンボ	2
チョウトンボ	2
オオシオカラトンボ	1
オツネントンボ	1
オニヤンマ	1
オニヤンマ幼虫	1
カトリヤンマ	1
キイロサナエ	1
ギンヤンマ	1
コオニヤンマ	1
コノシメトンボ	1
コフキトンボ	1
サラサヤンマ	1
シオカラトンボ幼虫(ヤゴ)	1
シオヤトンボ	1
台湾ンウチワヤンマ	1
ニホンカワトンボ	1
ヤブヤンマ幼虫(ヤゴ)	1
ヤマサナエ	1
ヤマサナエ幼虫	1
集計	98

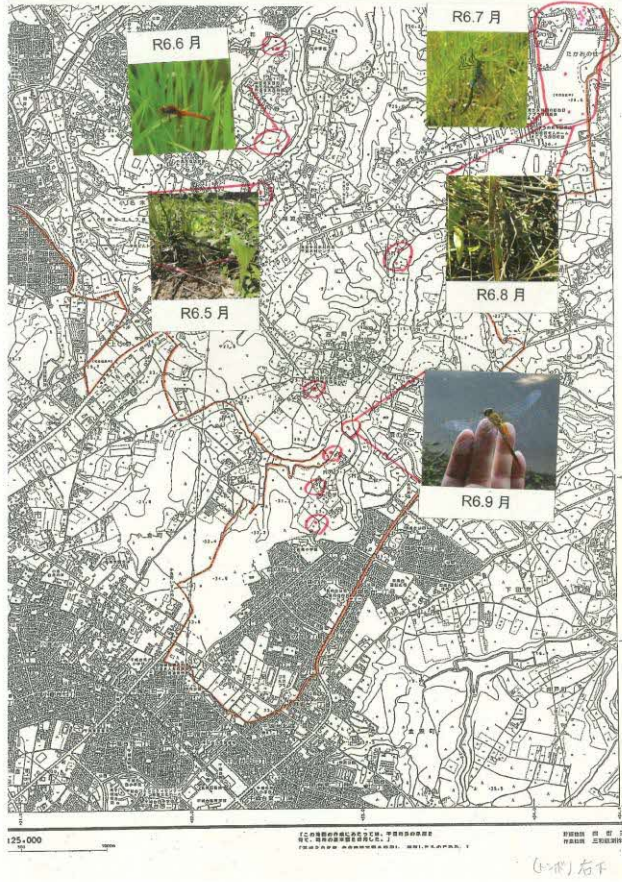
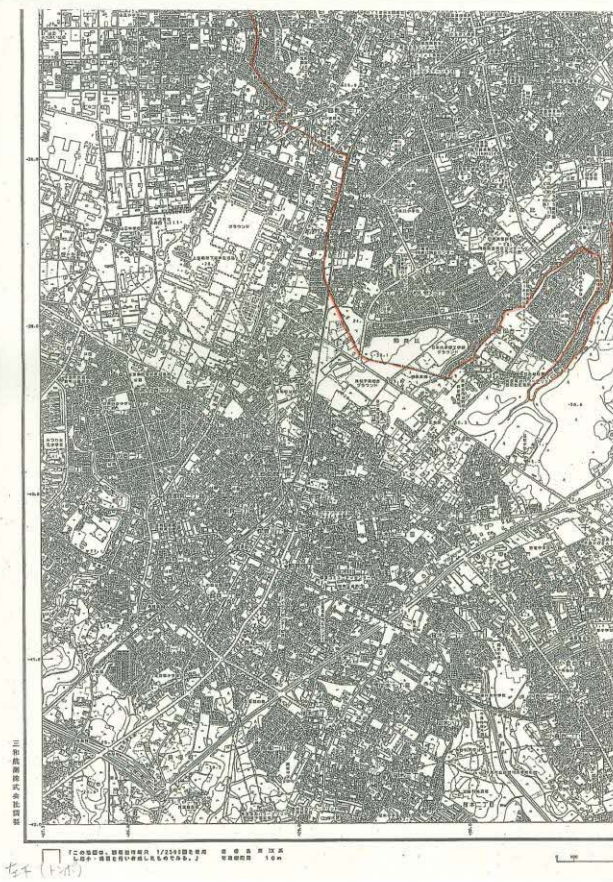
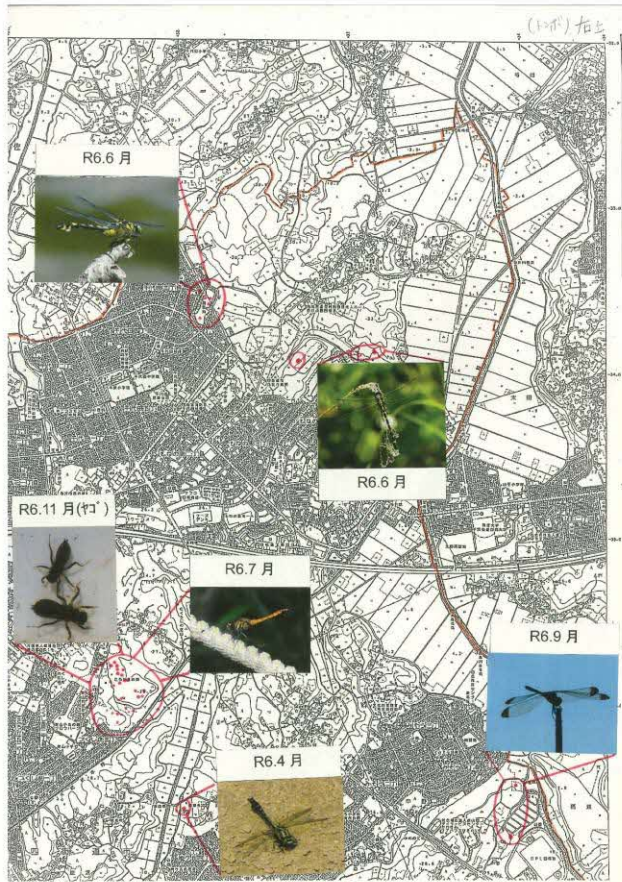
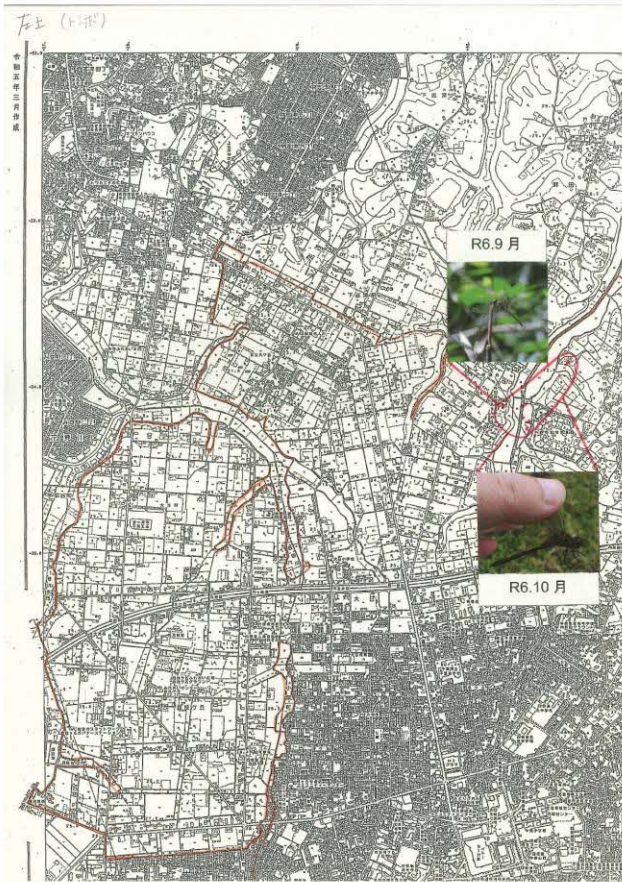


〈トンボの報告種数〉

37



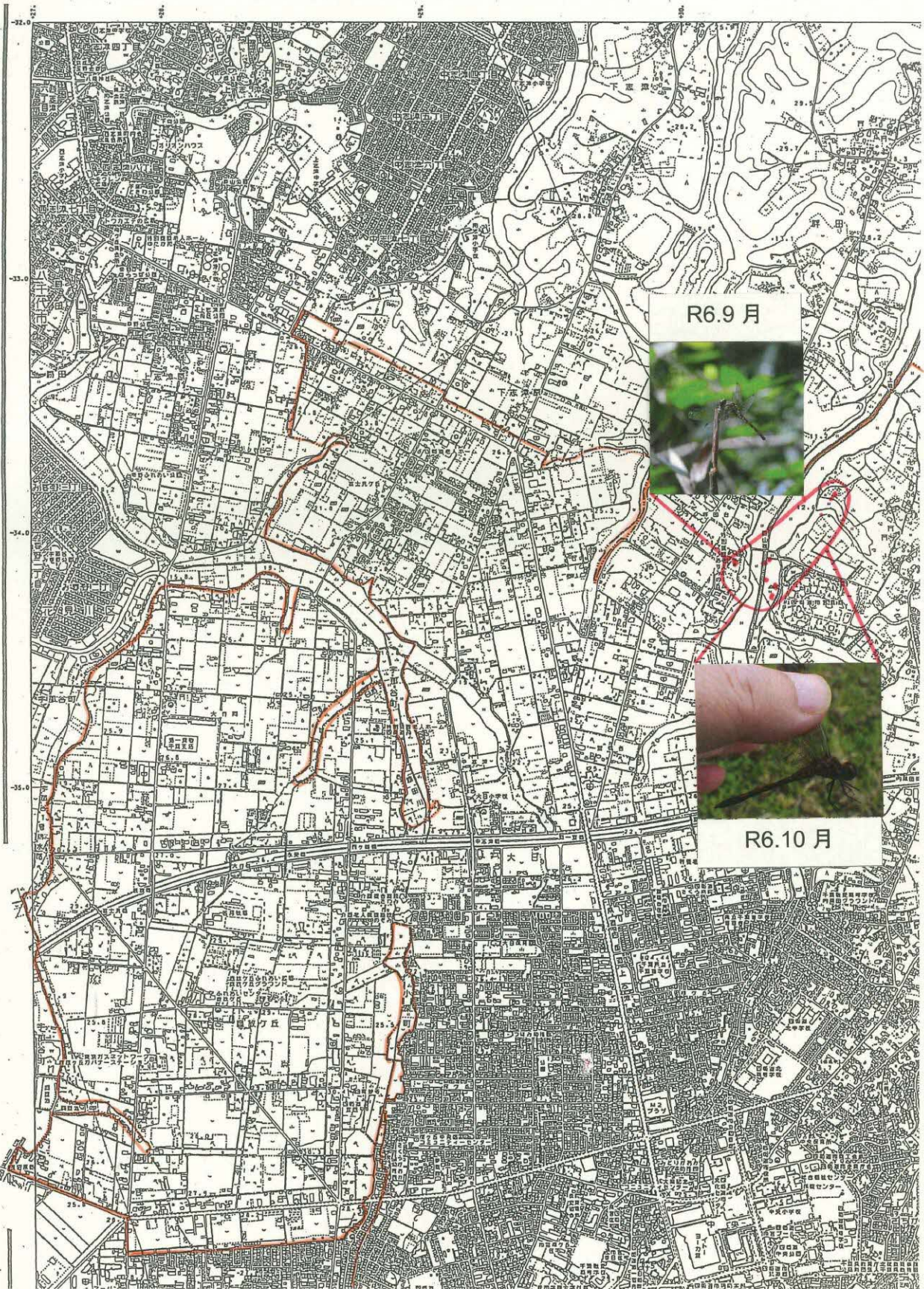
トンボ分布図（市全体）



トンボ分布図 (左上)

左上 (トンボ)

令和五年三月作成



R6.9 月



R6.10 月



トンボ分布図 (右上)

(トンボ) 右上

R6.6 月



R6.6 月



R6.11 月(ヤコ)



R6.7 月



R6.9 月

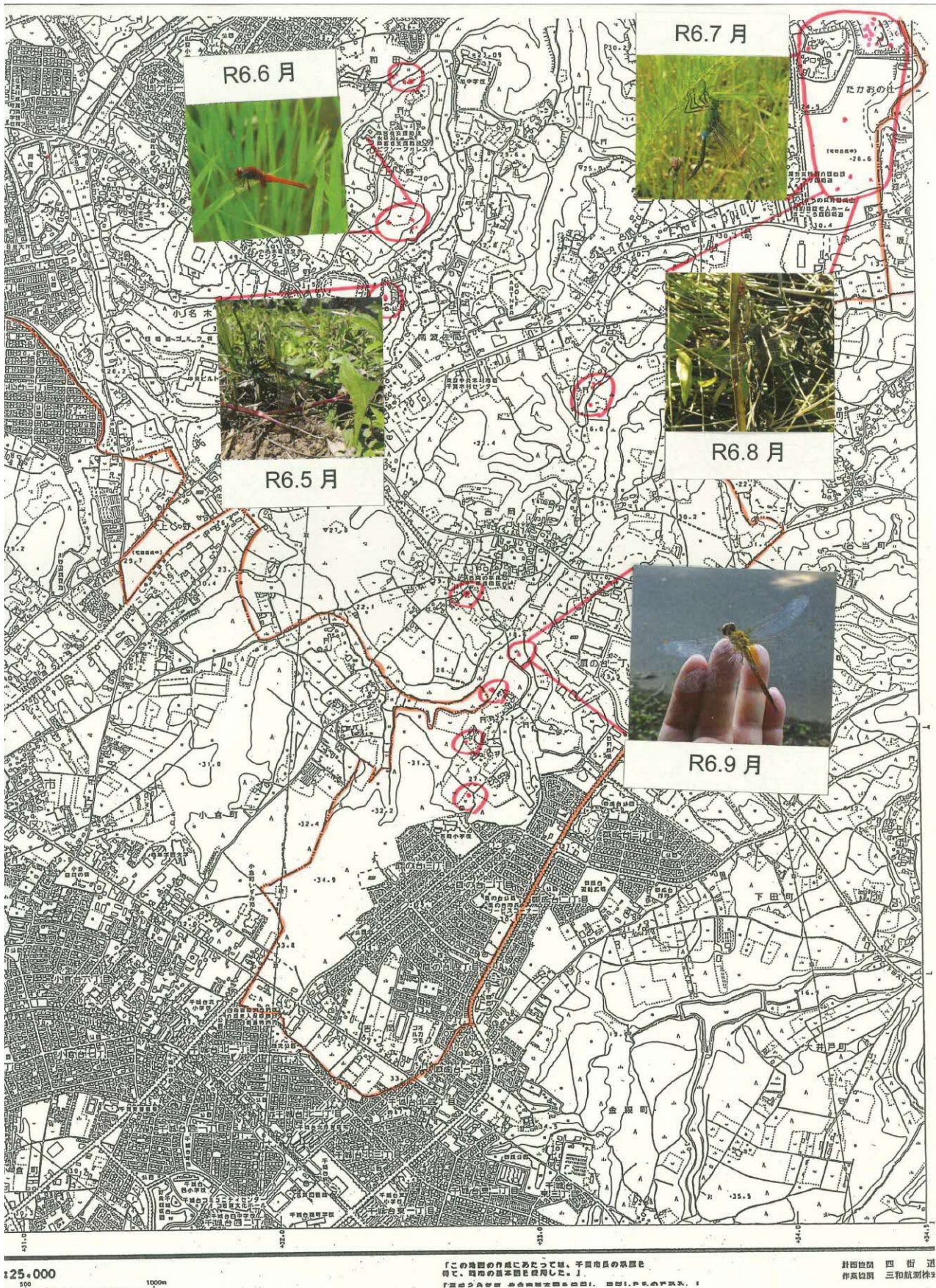


R6.4 月





トンボ分布図 (右下)



(トンボ) 右下



トンボ分布図（左下）

報告無しのため掲載しません。

4 まとめ

報告があった生きものの種類に偏りがありました

令和6年度に調査対象とした「チョウ、セミ、トンボ」のうち、チョウとトンボについては一定程度の件数の報告がありましたが、セミについては4件のみと、突出して少ない結果となりました。

セミは夏季のみに見られるものであり、発見できる時期が限られたことや、樹木に留まっているセミの存在を「鳴き声で感じられる」ことはあっても「実際に発見し、写真を撮る等の記録をする」ことが他の2種に比べ困難であったこと等が原因と考えられます。

生きものを見つけた場所に偏りがありました

令和6年度の調査では、特定の一部の場所で対象の生き物を発見したという報告が多く寄せられました。具体的には、「栗山地区のたろやまの郷」や「たかおの杜地区の調整池付近」等が挙げられます。

四街道市の魅力の一つとして「豊かな自然が残されている」ことが挙げられますが、このことを裏付けるように、住宅地として整備されている区域もあれば、自然が豊かであり生きものが多く生息している区域もある、ということを実感できる調査結果となりました。

今後に向けて

令和6年度の調査では、調査対象の生きものを昆虫3種のみとしていましたが、市内に残る「豊かな自然」とは昆虫のことだけを指しているわけではありません。したがって、令和7年度は、身近な植物も調査対象とすることで、令和6年度よりも幅広い調査を行うこととします。対象の植物としては、市の花である「サクラソウ」、身近で名前が知られていながら、その中に問題となっている外来生物を含んでいる「キク」や「アザミ」を選定し、在来植物の生育状況だけでなく、外来植物の生育状況まで明らかにすることを目指します。

一方で、令和6年度に調査した「チョウ、セミ、トンボ」の3種についても、一年度調査しただけで判明する生息状況はほんの僅かであることから、この3種についても継続して調査の対象とします。

令和7年度生きもの調査プロジェクト 調査対象の生きもの

昆虫：チョウ、セミ、トンボ

植物：サクラソウ、キク、アザミ

● 令和7年度から調査対象に加える植物についての参考情報

1. サクラソウ

市の花に指定されており、市のシンボルマークはこの花をデザイン化して作られています。



サクラソウと市のシンボルマーク

2. キク

キクといえば黄色くやわらかな花弁がイメージされると思いますが、キク科の「オオキンケイギク」は、一般的なキクに比べて濃い黄橙色の花を咲かせます。この種は海外起源であり、繁殖力がとても強く、在来植物を駆逐する恐れがあることから、法律上の「特定外来生物」に指定されています。



オオキンケイギク（写真提供：千葉県生物多様性センター）

3. アザミ

野草として有名なアザミですが、海外起源の外来植物である「アメリカオニアザミ」は、オオキンケイギクと同様に繁殖力がとても強いほか、全体にわたり鋭いトゲをもっており、在来植物の生育場所を奪ったり、人や動物にケガを負わせたりすることがあります。この危険性から、「生態系被害防止外来種」に指定されています。



アメリカオニアザミ（写真提供：千葉県生物多様性センター）



千葉県 の 笑 く ぼ

【編集・発行】

四街道市 環境部 環境政策課

電話：043-421-6131（環境政策課直通）

ホームページ：<https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/>